

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-032 改1
提出年月日	平成30年7月25日

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 工事計画審査資料

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

(本文)

## 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

### 3 使用済燃料貯蔵設備

(8) 使用済燃料貯蔵槽の温度, 水位及び漏えいを監視する装置

- a. 使用済燃料プール温度
- b. 使用済燃料プール水位
- c. 使用済燃料プール温度 (S A)
- d. 使用済燃料プール水位・温度 (S A広域)

(8) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

			変更前	変更後					
名		称	使用済燃料プール温度*	変更なし					
種	類	—	熱電対						
計	測	範囲	℃		0~100				
取 付 箇 所	系	統	名		—	使用済燃料プール温度			
	(ライン名)		—						
	設	置	床		—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 46.50 m			
	溢	水	防		護	上	の		
区	画	番	号	—					
配	慮	が	必	要	な	高	さ	—	
個	数		—	1					

注記 \* : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前		変更後
名称			使用済燃料プール水位*		変更なし
種類	類	—	浮力式水位検出器	フロート式検出器	
計測範囲	mm	—	EL. 46053 EL. 46231		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	使用済燃料プール水位		
	設置床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 46.50 m		
	溢水防護上の 区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			
個数	—	1	1		

注記 \* : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名 称				使用済燃料プール温度 (S A) *1
種 類		—		熱電対
計 測 範 囲		℃		0~120
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	—	使用済燃料プール温度 (S A)
	設 置 床	—		原子炉建屋原子炉棟 EL. 46.50 m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—
個 数		—		1*2

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

\*2：温度検出点 8 箇所。

			変更前	変更後	
名称			-	使用済燃料プール水位・温度 (S A広域)	
種類	-			ガイドパルス式水位検出器	測温抵抗体
計測範囲	-			-4300~7200 mm <sup>*1</sup>	0~120 °C
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		使用済燃料プール水位・温度 (S A広域)	
	設置床	-		原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m	
	溢水防護上の 区画番号	-		-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		-	
個数	-		1 <sup>*2</sup>		

注記 \*1: 基準点は、使用済燃料貯蔵ラック上端 (EL. 39377 mm) とする。

\*2: 温度検出点 2 箇所。